



第2期九州創生アクションプラン “JEWELS+”

JEWELS+ とは
(ジュエルズ プラス)

第1期九州創生アクションプラン“JEWELSプラン”(H27~R1)の土台の上に
新たな分野も“プラス”して九州創生を加速する第2期プラン

- ・ **J**ob (しごとづくり)
 - ・ **E**ducation (教育環境)
 - ・ **W**ork Life Balance / **E**mbrace
(出会い・結婚・妊娠・出産・子育て)
 - ・ **L**iving **S**afely & **S**ecurely (安心安全)
- + 新技術挑戦
女性が目線
外国人材受入・共生 など

目次	頁
I はじめに	1
II 「地方創生 新九州宣言」	2
III 第2期九州創生アクションプラン“JEWELS+”の概念	3
IV 推進体制(6PT)	4
V “JEWELS+” 施策体系	5
VI 各PT基本方針、目指す成果、KPI、ロードマップ等	
① しごとづくりPT	6
② 新技術挑戦PT	15
③ 人材活躍PT	20
④ 次世代育成PT	25
⑤ 地域活力づくりPT	29
⑥ 安心・安全PT	35

はじめに

日本の総人口は、2008年(H20)の1億2,808万人をピークに減少へ転じ、本格的な「人口減少社会」に突入した。国の推計では、このまま推移すれば、2050年代には1億人を切り、2100年には6千万人を割り込むと見込まれており、これに伴う経済規模の縮小や地域活力の低下が、国・地方を通じた最大の課題である。

国においては、我が国の少子高齢化・人口減少に歯止めをかけ、東京一極集中を是正し、将来にわたって活力ある社会を維持していくため、2014年(H26)に「まち・ひと・しごと創生法」を制定するとともに、「長期ビジョン」及び「総合戦略」を策定し、地方創生の取組を進めていくこととなった。

九州地方知事会と経済界代表で構成する九州地域戦略会議では、2015年(H27)に「九州創生アクションプラン[JEWELSプラン]」を策定し、連携・協働して地方創生の取組に力を注いできた。しかしながら、その後の推計で当初推計より人口減少ペースは、やや抑えられているものの、危機的な状況には変わりがない。

そこで、令和元年6月、国が策定する新たな基本方針の方向性を見据えながら、九州・山口各県知事と経済界代表をリーダーとする「しごとづくり」「新技術挑戦」「人材活躍」「次世代育成」「地域活力づくり」「安心・安全」の6つのプロジェクトチームを立ち上げ、議論を深めた。

同年11月には「地方創生 新九州宣言」をとりまとめ、これまでのプランをさらに深掘り、拡大した次期5か年(令和2年度～6年度)の総合戦略として、今般、第2期九州創生アクションプラン[JEWELS+(プラス)]を策定した。

我々は「九州はひとつ」の理念の下、当地域が持つポテンシャルを活かし日本の創生をこの地から先導する責務を果たすべく、このプランを力強く実践し、九州創生の動きを加速させていく所存である。

令和2年3月

九州地域戦略会議 共同議長 広瀬 勝貞
共同議長 麻生 泰

地方創生 新九州宣言

世界に先行して日本が直面する少子高齢化・人口減少という構造的課題に対して、国と地方は、現在、総力を挙げて地方創生の取組を進めている。

しかしながら、我が国の人口減少の大きな流れに歯止めはかからず、このまま推移すれば、将来の経済や社会に深刻な影響を与えることが予測され、今後、その強い危機感と覚悟をもって行動していく必要がある。

他方、世界はグローバル化の変化の中で、ヒトやモノ、情報、サービス、資金などが、国境や地域を越えて自由に行き交う時代となった。特に、技術革新の面では、IoTやAI、5Gなどの先端技術が世の中の有りようまで変えようとしている。

我々は、これを積極的に捉え、取り込み、地方創生に活かす必要がある。

地方創生は、地域に暮らす人々や生まれてくる子どもたちが、夢と希望を持って、いきいきと暮らせる社会の実現に向けた取組である。

九州・山口地域では、合計特殊出生率や圏域内に人口がとどまる割合が全国でも特に高く、世界の成長センターであるアジアに近接する地理的な優位性などの強みを有しているが、現状は、その特性を十分に活かし切れていない。

我々は今後、九州・山口地域が持つ強みやポテンシャル、豊富な人材等の資源を存分に活かし、日本の創生をこの地から先導し、加速する決意をもって、次のような点について、相互に連携させつつ、総合的に官民一体となって取り組むことを、ここに宣言する。

- 1 魅力的な仕事づくりや、誰もが働きやすい職場環境づくり
- 2 新産業の創出、地域課題の解決に向けた新技術の活用・挑戦
- 3 若者、女性、外国人、高齢者、障がい者など、多様な人材が活躍できる社会づくり
- 4 若者が結婚や子育てに希望を持ち、安心して子どもを産み育てやすい環境づくりと、未来に繋がる子どもの育成
- 5 地域の魅力を発信し、移住や訪問先として選ばれる地域づくり
- 6 安心・安全な暮らしを守る社会システムの構築、自然災害の激甚化に備えた防災・減災対策

令和元年11月6日

九州地域戦略会議 共同議長 広瀬 勝貞
共同議長 麻生 泰

第2期九州創生アクションプラン“JEWELS+”の概念

○九州創生の方向性

国、地方を通じた最大の課題
 ・ 少子高齢化、人口減少
 ・ 東京一極集中

〔九州・山口地域の強み〕

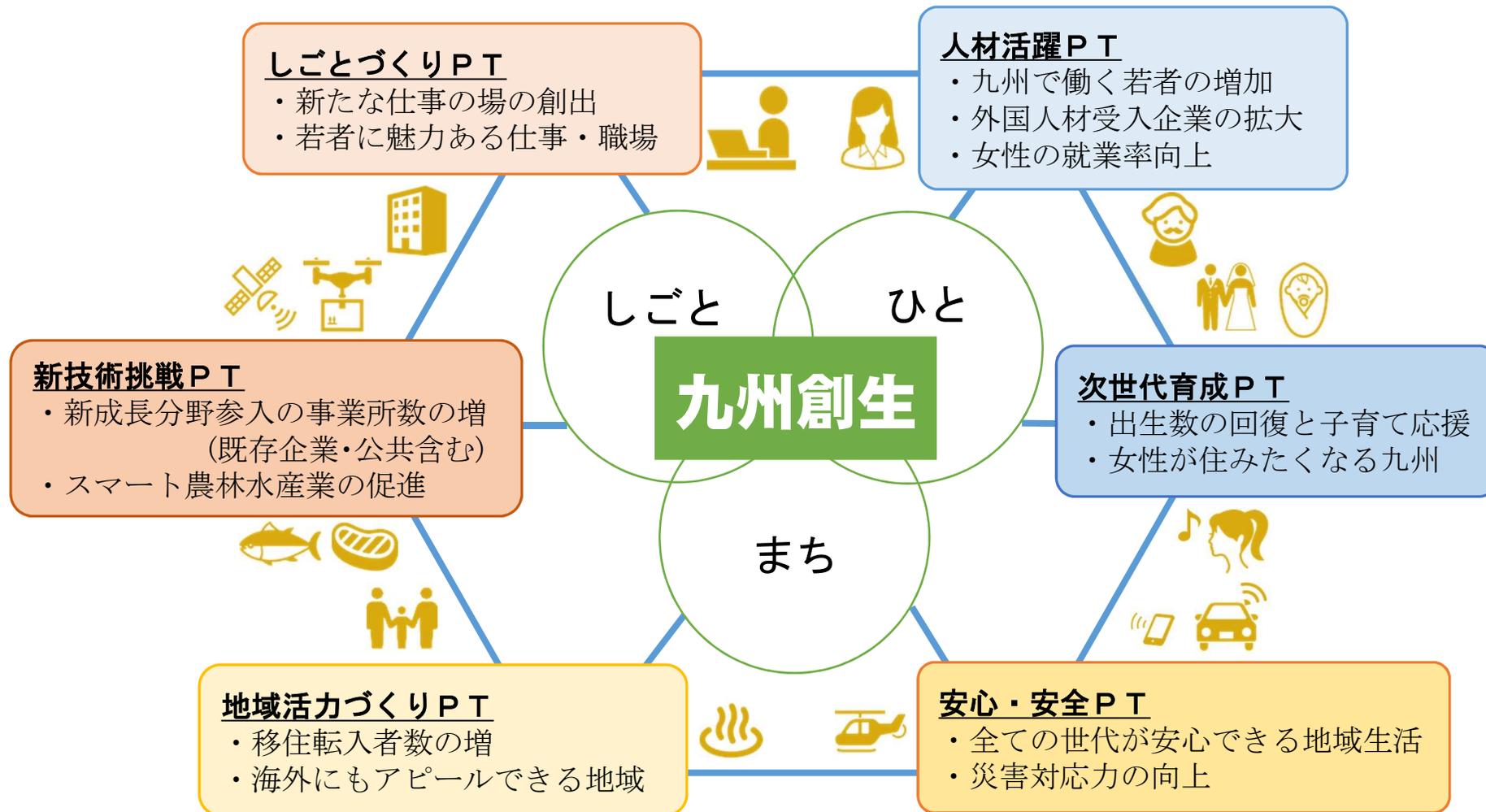
- ◆ 合計特殊出生率が総じて高い(九州・山口1.62、全国1.42)
- ◆ 人口移動が圏域内に留まる割合が高い(首都圏に次いで2位)
- ◆ 高い成長率を維持するアジアに近い地理的優位性



3つの強みを活かして

日本の地方創生を九州から先導する

へ
プ
ラ
ン
の
取
組
目
標
へ



※6つのPTが相互に連携し、官民一体で取り組む

第2期九州創生アクションプラン“JEWELS+”推進体制(6PT)

<解決する社会的・地域課題>

少子化・高齢化(ひと)

出生率の向上と女性人口の社会増
 男性の家事・育児参加の促進
 出会い・結婚から子育てまで切れ目ない支援
 晩婚化・非婚化への対策
 ワークライフバランスの確立
 働きたい高齢者の就業機会・活躍

生産年齢人口(しごと)

若者等に魅力ある仕事の場づくり
 人手不足の解消(若者・女性・外国人材等の活躍)
 新技術(IoTやAI、5Gなど)の活用・挑戦、新分野展開
 中小・小規模事業者の後継者育成、確保
 農林水産業の成長産業化・生産性向上
 観光のさらなる展開(インバウンドの多角化)

地域づくり・安心安全(まち)

移住者の呼び込み(地域の担い手増)
 集落機能の活性化
 スポーツツーリズムの拡大
 文化資源の積極的活用
 超高齢社会への対応
 大地震や豪雨災害等への備え

女性活躍のチャンス拡大

九州女子先進地の実現
地域で輝く女性人材

高学歴女性の働く場づくり
子育て中の女性サポート

各プロジェクトチーム(PT)

◎は女性中心

しごとづくりPT

(麻生会長、小川知事、藤永会長)
九経連 九商連

- 働き方改革の推進
 - Society5.0の実現
 - 創業・事業承継の推進
 - 農林水産物の輸出拡大
 - インバウンド対策の推進
 - 九州ロゴマークの活用
- ◎女性の働きやすい仕事環境

新技術挑戦PT

(三反園知事、小川知事、金子副会長)
九経連

- 先端技術の活用/企業の呼び込み
 - 新産業分野への展開
 - スマート農林水産業の推進
- ◎女性が能力を発揮できる環境づくり(企業トップの意識改革)

人材活躍PT

(蒲島知事、麻生会長)
九経連

- 若年層(特に高卒者)の圏域内就職
 - 外国人材の受入・共生
 - グローバル人材の育成
- ◎女性活躍のロールモデル

次世代育成PT

(山口佐賀県知事、貴代表委員)
九同友

- 広域婚活支援
 - 家庭の歩みを応援 ~妊娠・出産・子育て応援~
 - 未来に繋がる子どもの育成
- ◎女性の活躍・応援

地域活力づくりPT

(中村知事、河野知事、石原副会長)
九経連

- 移住対策
 - 文化・スポーツ資源の有効活用
 - 小さな拠点、ネットワークコミュニティの構築
 - 空港連携
 - 温泉資源の有効活用
- ◎女性に選ばれる地域

安心・安全PT

(河野知事、中村知事、竹島会長、小澤理事)
九経協 九経連

- 健康長寿社会づくりの推進
 - 持続可能な社会インフラの整備
 - 激甚化する災害への備え
- ◎女性目線の防災・減災対策

“JEWELS+” 施策体系

6PT・目指す成果	基本施策 (28)	プロジェクト(38)	【 K P I 】	頁
しごとづくりPT ・就業者数の維持 ・若年人口の社会減の改善	(1)農林水産物の輸出拡大	(1)-①海外での農林水産物ブランドづくり	【輸出額:3,100億円】	7
	(2)インバウンド対策	(2)-①観光地「KYUSHU」のブランド力向上	【欧米豪での認知度:11%】	8
	(3)創業・事業承継	②観光人材育成	【人材育成研修参加者数:6,000人】	9
	(4)働き方改革	③外国人観光客の来訪促進(ツール・ド・九州)	【延べ宿泊者数:2,010万人】	9
	(5)Society5.0の実現	④外国人観光客の滞在・消費促進	【観光消費額:1.2兆円】	9
	(6)九州ロゴマークの活用	(3)-①事業承継円滑化	【計画策定支援件数:2,220件】	10
	(7)女性が働きやすい仕事環境	②九州・山口ベンチャー支援	【資金調達企業数:30%】	10
新技術挑戦PT ・新分野参入促進、 先端技術活用 ・スマート農林水産業の推進	(1)先端技術の活用/企業の呼び込み	(4)-①九州・山口働き方改革	【働き方改革実践企業数8,000社】	11
	(2)スマート農林水産業の推進	(5)-①Society5.0の実現に向けた事業創出	【広域連携事業数:4件】	11
	(3)女性が能力を発揮できる環境づくり	(6)-①九州ロゴマーク活用	【民間企業・団体:60件 等】	12
人材活躍PT ・九州で働く若者の増加 ・外国人材受入企業の拡大 ・女性の就業率向上	(1)若年者(特に高卒者)の圏域内就職	(7)-①九州・山口働き方改革(再掲)	【働き方改革実践企業数8,000社】	12
	(2)外国人材の受入・共生	(1)-①新分野参入による活発なビジネス展開	【研究開発・実証等の事業数:675件】	16
	(3)グローバル人材の育成	②高度技術人材の確保・育成	【人材数:5,400人】	17
次世代育成PT ・出生率の更なる向上 ・女性人口の社会増	(4)女性等の活躍	(2)-①スマート農林水産業普及拡大	【導入件数 農:3,900件 林:90件 水:170件】	17
	(1)広域婚活支援	(3)-①女性能力発揮への企業トップ等の意識改革	【管理職に占める女性割合:30%】	18
	(2)家庭の歩みを応援 ~妊娠・出産・子育て応援~	(1)-①九州・山口で働く魅力発見・若者定着促進	【圏域内就職率:80% 等】	21
	(3)未来に繋がる子どもの育成	(2)-①外国人材に選ばれる九州・山口	【外国人労働者雇用事業所数:32,500事業所】	22
地域活力づくりPT ・移住者数の増加 ・空港連携による 路線維持拡大	(4)女性の活躍・応援	(3)-①グローバル人材コミュニティ形成・活用	【コミュニティ参加者数:3,150人】	22
	(1)移住対策	②海外留学・海外進学支援	【留学・進学者数:1,500人】	23
	(2)小さな拠点・ネットワークコミュニティの構築	(4)-①女性のロールモデル発信	【管理職に占める女性割合:30%】	23
	(3)文化・スポーツ資源の有効活用	(1)-①出会い結婚応援	【応援企業数:8,500企業】	26
	(4)温泉資源の活用	(2)-①妊娠・出産・子育て応援	【男性の家事・育児時間:21時間/週 等】	27
	(5)空港連携	(3)-①子どもの本物体験促進	【地域・社会をよくしたいと考えている子ども率:73%】	27
安心・安全PT ・健康寿命の延伸 ・災害復旧体制の強化	(6)女性に選ばれる地域	(4)-①女性の活躍・応援	【女性のがん検診受診率 子宮頸がん24% 等】	27
	(1)健康長寿社会づくり	(1)-①九州・山口一体の移住促進	【移住者数の増加:14,000人】	30
	(2)持続可能な社会インフラの整備	(2)-①小さな拠点等の構築に向けた担い手確保	【取組地域:730地域】	31
	(3)激甚化する災害への備え	(3)-①スポーツツーリズムによる地域活性化	【九州が連携した大会の開催数:9件】	31
(4)女性目線の防災・減災対策	(4)温泉資源の活用	②文化資源の誘客活用	【九州大会開催数:9件】	32
	(5)空港連携	(4)-①温泉の更なる活性化	【周遊モデルコース数:3件】	32
	(6)女性に選ばれる地域	(5)-①路線維持拡大のための空港連携	【旅行商品新規造成延べ件数:21件】	33
	(1)健康長寿社会づくり	(6)-①九州・山口一体の移住促進(再掲)	【移住者数の増加:14,000人】	33
(2)持続可能な社会インフラの整備	②温泉の更なる活性化(再掲)	【周遊モデルコース数:3件】	33	
(3)激甚化する災害への備え	(1)-①健康寿命延伸対策	【健康寿命の延伸:H28比1年以上】	36	
(4)女性目線の防災・減災対策	(2)-①地域公共交通の「見える化・魅力化・最適化」	【輸送人員:598,896千人】	37	
	②乗合バスの運転手確保	【大型二種免許交付件数:7,000件以上】	37	
	(3)-①電力・通信等インフラ復旧連携	【災害復旧訓練:九州全県で実施】	38	
	②想定最大規模の災害に備えたハザードマップ作成	【作成率:100%】	38	
	(4)-①女性や子ども等に配慮した避難所運営円滑化	【マニュアル基本モデル:R3策定】	38	

【しごとづくりPT】



リーダー

小川福岡県知事、麻生九経連会長、藤永九商連会長

1 基本方針	九州・山口が持続的な成長を実現するため、地域が持つ強みを活かし、魅力あるしごとの場を創出するとともに、誰もが働きやすく生産性の高い職場環境をつくる。																
2 目指す成果	①九州・山口の就業者数の維持（平成30年度 約792万4千人） ②九州・山口圏域内若年人口（20歳～24歳）の社会増減率の改善（直近：R1 -2.38%）																
<table border="1"><thead><tr><th data-bbox="248 560 819 624">3 基本施策</th><th data-bbox="864 560 2007 624">4 プロジェクト</th></tr></thead><tbody><tr><td data-bbox="248 632 819 703">(1) 農林水産物の輸出拡大</td><td data-bbox="864 632 2007 703">海外における九州・山口県産農林水産物のブランドづくりプロジェクト</td></tr><tr><td data-bbox="248 775 819 847">(2) インバウンド対策</td><td data-bbox="864 735 2007 903">【新】観光地「KYUSHU」のブランド力向上プロジェクト 【新】観光人材育成プロジェクト 外国人観光客の来訪促進プロジェクト 【新】外国人観光客の滞在・消費促進プロジェクト</td></tr><tr><td data-bbox="248 935 819 1007">(3) 創業・事業承継</td><td data-bbox="864 935 2007 1023">【新】事業承継円滑化プロジェクト 九州・山口ベンチャー支援プロジェクト</td></tr><tr><td data-bbox="248 1054 819 1126">(4) 働き方改革</td><td data-bbox="864 1054 2007 1126">九州・山口働き方改革推進プロジェクト</td></tr><tr><td data-bbox="248 1166 819 1238">(5) Society5.0の実現</td><td data-bbox="864 1166 2007 1238">【新】Society5.0の実現に向けた事業創出プロジェクト</td></tr><tr><td data-bbox="248 1278 819 1350">(6) 九州ロゴマークの普及</td><td data-bbox="864 1278 2007 1350">九州のロゴマーク活用推進プロジェクト</td></tr><tr><td data-bbox="248 1382 819 1453">(7) 女性が働きやすい仕事環境</td><td data-bbox="864 1382 2007 1469">九州・山口働き方改革推進プロジェクト(再掲) (女性の働きやすい職場づくりのためのコンサルティングの実施や、取組を行う企業の見える化等)</td></tr></tbody></table>		3 基本施策	4 プロジェクト	(1) 農林水産物の輸出拡大	海外における九州・山口県産農林水産物のブランドづくりプロジェクト	(2) インバウンド対策	【新】観光地「KYUSHU」のブランド力向上プロジェクト 【新】観光人材育成プロジェクト 外国人観光客の来訪促進プロジェクト 【新】外国人観光客の滞在・消費促進プロジェクト	(3) 創業・事業承継	【新】事業承継円滑化プロジェクト 九州・山口ベンチャー支援プロジェクト	(4) 働き方改革	九州・山口働き方改革推進プロジェクト	(5) Society5.0の実現	【新】Society5.0の実現に向けた事業創出プロジェクト	(6) 九州ロゴマークの普及	九州のロゴマーク活用推進プロジェクト	(7) 女性が働きやすい仕事環境	九州・山口働き方改革推進プロジェクト(再掲) (女性の働きやすい職場づくりのためのコンサルティングの実施や、取組を行う企業の見える化等)
3 基本施策	4 プロジェクト																
(1) 農林水産物の輸出拡大	海外における九州・山口県産農林水産物のブランドづくりプロジェクト																
(2) インバウンド対策	【新】観光地「KYUSHU」のブランド力向上プロジェクト 【新】観光人材育成プロジェクト 外国人観光客の来訪促進プロジェクト 【新】外国人観光客の滞在・消費促進プロジェクト																
(3) 創業・事業承継	【新】事業承継円滑化プロジェクト 九州・山口ベンチャー支援プロジェクト																
(4) 働き方改革	九州・山口働き方改革推進プロジェクト																
(5) Society5.0の実現	【新】Society5.0の実現に向けた事業創出プロジェクト																
(6) 九州ロゴマークの普及	九州のロゴマーク活用推進プロジェクト																
(7) 女性が働きやすい仕事環境	九州・山口働き方改革推進プロジェクト(再掲) (女性の働きやすい職場づくりのためのコンサルティングの実施や、取組を行う企業の見える化等)																

5 各プロジェクトの概要

[しごとづくり]

<基本施策(1) 農林水産物の輸出拡大>

①海外における九州・山口県産農林水産物のブランドづくりプロジェクト

事業概要
<p>【目的】 海外での九州・山口県産の農林水産物・食品の認知度向上と輸出拡大を目指し、九州・山口一体となった輸出体制を構築する。</p> <p>【5年間の主な取組】</p> <p>○輸出体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域商社や経済団体が持つネットワークを活用し、九州・山口県産品を包括的に輸出する体制づくりを行う。 (例)九州農産物通商(株)が持つ産地ネットワークを活用した輸出向け産地の創出 (例)九州経済連合会と上海のMOU締結の活用等 <p>○販売促進活動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域商社と連携した販売促進フェアの共同開催等 ・ 九州ロゴマークを活用したブランドづくり

K P I (重要業績評価指標)
<p>・九州(沖縄含む)の港等からの農林水産物・食品の輸出額 (現 状：1,100億円 ※令和元年見込み) (5年後の目標：令和6年までに3,100億円)</p> <p>※国の2030年輸出目標額5兆円と同じく、5倍になる伸び率で設定 1,100億円(2019年)→3,100億円(2024年)→5,500億円(2030年)</p>

<基本施策(2) インバウンド対策>

①観光地「KYUSHU」のブランド力向上プロジェクト

事業概要
<p>【目的】 九州が観光地として選ばれるため、「KYUSHU」ブランドの定着を図る。</p> <p>【5年間の主な取組】</p> <p>○デジタルマーケティングを活用した「KYUSHU」ブランドの定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 九州ならではの価値を整理したキーワード「Gateway (人と文化が融合する日本の玄関口)」等に基づきイメージ動画等を制作し、英語版Webサイト等で発信する。 ・ デジタルマーケティングを活用し、各ターゲットにおける九州の認知度、九州への来訪意向等のデータを分析し、発信コンテンツや発信手法等の継続的改善を行う。

K P I (重要業績評価指標)
<p>・欧米豪における九州の認知度 (現 状：平成30年 認知度 7%) (4年後(※)の目標：令和5年までに 認知度 11%)</p> <p>※「第二期九州観光戦略」(H26～R5)に合わせ設定</p>

<基本施策(2) インバウンド対策>

②観光人材育成プロジェクト

事業概要

【目的】

観光産業従事者がやりがいをもって働くことができる環境を整備する。

【5年間の主な取組】

○観光人材のスキルアップ及び活用促進

- ・九州各県及び九州観光推進機構において、通訳案内士や観光関連事業者等を対象に、スキルアップを目的とした研修を実施するとともに、観光人材の活用促進のための情報発信を行う。

K P I (重要業績評価指標)

・観光人材育成研修参加者数

(現 状：平成30年 一 名)

(4年後(※)の目標：令和5年までに 6,000名)

※「第二期九州観光戦略」(H26～R5)に合わせ設定

<基本施策(2) インバウンド対策>

③外国人観光客の来訪促進プロジェクト

事業概要

【目的】

競争力ある観光素材の開発や磨き上げを行うとともに、国・地域別に応じたプロモーションを行うことにより、外国人観光客の来訪促進を図る。

【5年間の主な取組】

○九州・山口サイクルツーリズムの推進

- ・広域推奨ルートの設定、サイクルスタンドの整備などサイクリストの受入環境の整備、ウェブサイトによる国内外への情報発信を行う。

○「ツール・ド・九州(仮称)」の検討

- ・オール九州での官民一体となったサイクルイベントの実施を検討する。

○影響力のあるメディアやSNS等を活用した情報発信

- ・ターゲットとなる国・地域のニーズに合わせ、SNS等による個人に直接届く情報発信を行うとともに、影響力のある海外の有力メディアやインフルエンサーなどを活用した情報発信を行う。

K P I (重要業績評価指標)

・外国人延べ宿泊者数

(現 状：平成30年 715万人泊)

(4年後(※)の目標：令和5年までに 2,010万人泊)

※「第二期九州観光戦略」(H26～R5)に合わせ設定

<基本施策(2) インバウンド対策>

④外国人観光客の滞在・消費促進プロジェクト

事業概要	
	<p>【目的】 自然、食、文化、体験など魅力的な観光コンテンツを整備し、情報発信することで、消費単価の向上や滞在日数の増加を図る。</p> <p>【5年間の主な取組】</p> <p>○外国人観光客の消費拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コト消費に対応したコンテンツの拡充及びインバウンドの消費促進のための環境整備を行うとともに、広域周遊を促進する旅行商品の造成を行う。 <p>○MICE誘致の強化と経済効果の最大化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 需要が拡大するグローバルMICEの誘致活動を推進する。

K P I (重要業績評価指標)	
	<p>・外国人観光客の消費額</p> <p>(現 状：平成30年 4,040億円) (4年後(※)の目標：令和5年までに 1.2兆円)</p> <p>※「第二期九州観光戦略」(H26～R5)に合わせ設定</p>

<基本施策(3) 創業・事業承継>

①事業承継円滑化プロジェクト

事業概要	
	<p>【目的】 各県の「事業承継ネットワーク」の取組により、事業承継の準備に着手した企業の割合が増加するなど、経営者の意識改革が進んでいる。このネットワークの機能を更に向上させ、円滑な事業承継を促進する。</p> <p>【5年間の主な取組】</p> <p>○事業承継改善会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各県独自の取組(事業承継に関する周知方法、事業承継診断方法、事業承継計画策定支援の方法)や効果的な取組を集約・共有し、より効果的な支援につなげる。 <p>○事業承継集中実施期間の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年10月から贈与税猶予の認定申請が始まるため、8月、9月(予定)を事業承継支援の「集中実施期間」とし、各県事業承継ネットワークの構成機関が周知活動、事業承継診断を同時・集中的に実施する。

K P I (重要業績評価指標)	
	<p>・事業承継ネットワークによる事業承継計画の策定支援件数</p> <p>(現 状： 130件 ※平成30年度実績) (5年後の目標：2,220件 (5年間の累計))</p>

<基本施策(3) 創業・事業承継>

②九州・山口ベンチャー支援プロジェクト

事業概要
<p>【目的】 九州・山口から世界に翔ばたくベンチャー企業を輩出すべく、行政と経済界が一体となった支援を行っていく。</p> <p>【5年間の主な取組】</p> <p>○九州・山口ベンチャーマーケットの開催(年1回)</p> <ul style="list-style-type: none"> 資金調達を目的に、各県を代表するベンチャー企業が登壇して、投資家等に向け、ビジネスプランを競うコンテストの開催や商談会を実施する。 <p>○登壇企業への集中支援(通年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 登壇企業に対し、専門家によるビジネスプランのブラッシュアップやプレゼンテーション指導、販路拡大や生産技術の改善、資金調達に繋げる投資家等とのマッチングなど、企業の成長段階に合わせた伴走支援を実施する。 <p>また、全国規模で開催するビジネスプランコンテストへの参加支援を行う。</p>

K P I (重要業績評価指標)
<p>・資金調達を達成した登壇企業の割合(5年間累計)</p> <p style="padding-left: 20px;">(現 状： 登壇企業の15%)</p> <p style="padding-left: 40px;">(平成27年から令和元年度までの実績)</p> <p style="padding-left: 20px;">(5年後の目標： 登壇企業の30%(5年間の累計))</p>

<基本施策(4) 働き方改革>

①九州・山口働き方改革推進プロジェクト

事業概要
<p>【目的】 九州・山口各県において、女性、若者、高齢者などの多様な人材が働きやすい魅力的な職場づくりに取り組む企業を増やす。</p> <p>【5年間の主な取組】</p> <p>○働き方改革の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性、若者、高齢者などが働きやすい職場づくりのための個別企業に対する研修やアドバイザー派遣などによるコンサルティングの実施、働き方改革の観点で一定の要件を満たす企業を見える化(HP掲載、認証、表彰等)する取組など、単なる気運醸成にとどまらない、実践を意識した取組を進める。 <p>○ワーク・ライフ・バランスに関する取組の見える化</p> <ul style="list-style-type: none"> 「九州・山口ワークライフバランス推進キャンペーン」サイトを使って、ワーク・ライフ・バランス推進セミナーや企業による男性育休促進などの取組の好事例について情報発信する。

K P I (重要業績評価指標)
<p>・働き方改革実践企業数</p> <p style="padding-left: 20px;">(現 状： 1,623 社 ※令和元年度の見込数)</p> <p style="padding-left: 20px;">(5年後の目標： 8,000 社 (5年間の累計))</p>

<基本施策(5) Society5.0の実現>

① Society5.0の実現に向けた事業創出プロジェクト

事業概要	
【目的】	九州・山口において、地域経済の成長・発展及び様々な社会問題の解決のため、AI、IoTといった「第4次産業革命」の最新技術を活用した広域連携事業を創出していく。
【5年間の主な取組】	
○技術活用事業の調査及び事例集の作成	<ul style="list-style-type: none"> 第4次産業革命技術活用状況に係る調査を実施し、その調査結果から、農林水産業のスマート化、企業でのIoT活用の推進など、各県で取り組んでいる事業を整理する。 今後、調査を継続的に実施した上で、主要な事業や他県で参考となるようなモデル事業について事例集を作成し、情報共有を行う。
○九州・山口各県広域連携事業の創出	<ul style="list-style-type: none"> 調査結果や事例集をもとに、効果的・効率的に行える事業を選定し、取組を進める。 現在、各県が公開しているオープンデータについて、民間での活用が一層進むよう、共同公開の基準や方法について検討を進める。
○各県職員のスキルアップ・人材育成	<ul style="list-style-type: none"> 施策の企画や実務を担当する職員が、技術活用についての知識・理解向上を進めるために、各県が連携した説明会や検討会を行う。

K P I (重要業績評価指標)

・広域連携事業数

(現 状 : 0件)
(5年後の目標 : 4件 (5年間の累計))

<基本施策(6) 九州ロゴマークの普及>

①九州ロゴマーク活用推進プロジェクト

事業概要	
【目的】	九州ロゴマークを活用して九州をPRし、九州の魅力、活力、一体感を訴え、九州のブランド力を高める。
【5年間の主な取組】	
○九州各県や経済団体での九州のPR	<ul style="list-style-type: none"> JEWELS+や政策連合の取組等、九州が一体となった様々な分野で九州ロゴマークを活用して九州をPRする。
○民間企業・団体での九州のPR	<ul style="list-style-type: none"> 商品に掲載する等、民間企業・団体に九州ロゴマークを活用した九州のPRを働き掛ける。

K P I (重要業績評価指標)

・JEWELS+及び政策連合の全事業での活用

(現状 : 83 %) (2年後の目標 : 100%)

※JEWELSプラン(H27~R1)での目標を引き継ぎ、令和3年度末までに100%を目指す

・民間企業・団体での活用

(現状 : 10件) (5年後の目標 : 60件)

<基本施策(7) 女性が働きやすい仕事環境>

①九州・山口働き方改革推進プロジェクト

(再掲)

事業概要

【目的】

九州・山口各県において、女性などが働きやすい魅力的な職場づくりに取り組む企業を増やす。

【5年間の主な取組】

○働き方改革の実践

・女性などが働きやすい職場づくりのための個別企業に対する研修やアドバイザー派遣などによるコンサルティングの実施、働き方改革の観点で一定の要件を満たす企業を見える化(HP掲載、認証、表彰等)する取組など、単なる気運醸成にとどまらない、実践を意識した取組を進める。

○ワークライフバランスに関する取組の見える化

・「九州・山口ワークライフバランス推進キャンペーン」サイトを使って、ワーク・ライフ・バランス推進セミナーや企業による男性育休促進などの取組の好事例について情報発信する。

※当該プロジェクトのうち、女性に関連する事業を再掲

K P I (重要業績評価指標)

・働き方改革実践企業数

(現 状 : 1,623 社 ※令和元年度の見込数)
(5年後の目標 : 8,000 社 (5年間の累計))

目標達成に向けたロードマップ

しごとづくりPT	R2	R3	R4	R5	R6		
目指す成果	年次目標（累計）				最終目標		
九州・山口の就業者数	792.4 万人	792.4 万人	792.4 万人	792.4 万人	792.4 万人		
九州・山口圏域内若年人口（20～24歳）の社会増減率の改善（直近：R1 -2.38%）							
施策別の工程等	基本施策	取組内容・KPI					
	(1) 農林水産物の輸出拡大	海外における九州・山口県産農林水産物のブランドづくりプロジェクト					
		九州（沖縄含む）の港等からの農林水産物・食品の輸出額	1,500 億円	1,900 億円	2,300 億円	2,700 億円	3,100 億円
	(2) インバウンド対策	観光地「KYUSHU」のブランド力向上プロジェクト					
		欧米豪における九州の認知度	8 %	9 %	10 %	11 %	※
		観光人材育成プロジェクト					
		観光人材育成研修参加者数	1,500 名	3,000 名	4,500 名	6,000 名	※
		外国人観光客の来訪促進プロジェクト					
		外国人の延べ宿泊者数	1,233 万人泊	1,493 万人泊	1,751 万人泊	2,010 万人泊	※
	外国人観光客の滞在・消費促進プロジェクト						
外国人観光客の消費額	7,224 億円	8,816 億円	1兆408 億円	1兆2,000 億円	※		

※ 次期九州観光戦略等を踏まえて検討

しごとづくりPT		R2	R3	R4	R5	R6
施策別の工程等	基本施策	取組内容・KPI				
	(3) 創業・事業承継	事業承継円滑化プロジェクト				
		事業承継ネットワークによる事業承継計画の策定支援件数				
	(4) 働き方改革	九州・山口ベンチャー支援プロジェクト				
		資金調達を達成した登壇企業の割合	10 %	15 %	20 %	25 %
	(5) Society5.0の実現	九州・山口働き方改革推進プロジェクト				
		働き方改革実践企業数(具体の取組を行っている企業数)	1,600 社	3,200 社	4,800 社	6,400 社
	(6) 九州ロゴマークの普及	Society5.0の実現に向けた事業創出プロジェクト				
広域連携事業数			1 件	2 件	3 件	4 件
(7) 女性が働きやすい仕事環境	九州のロゴマーク活用推進プロジェクト					
	JEWELS+及び政策連合の全事業での活用	100 %	100 %			
	民間企業・団体での活用	20 件	30 件	40 件	50 件	60 件
	九州・山口働き方改革推進プロジェクト(再掲)					

【 新技術挑戦PT 】

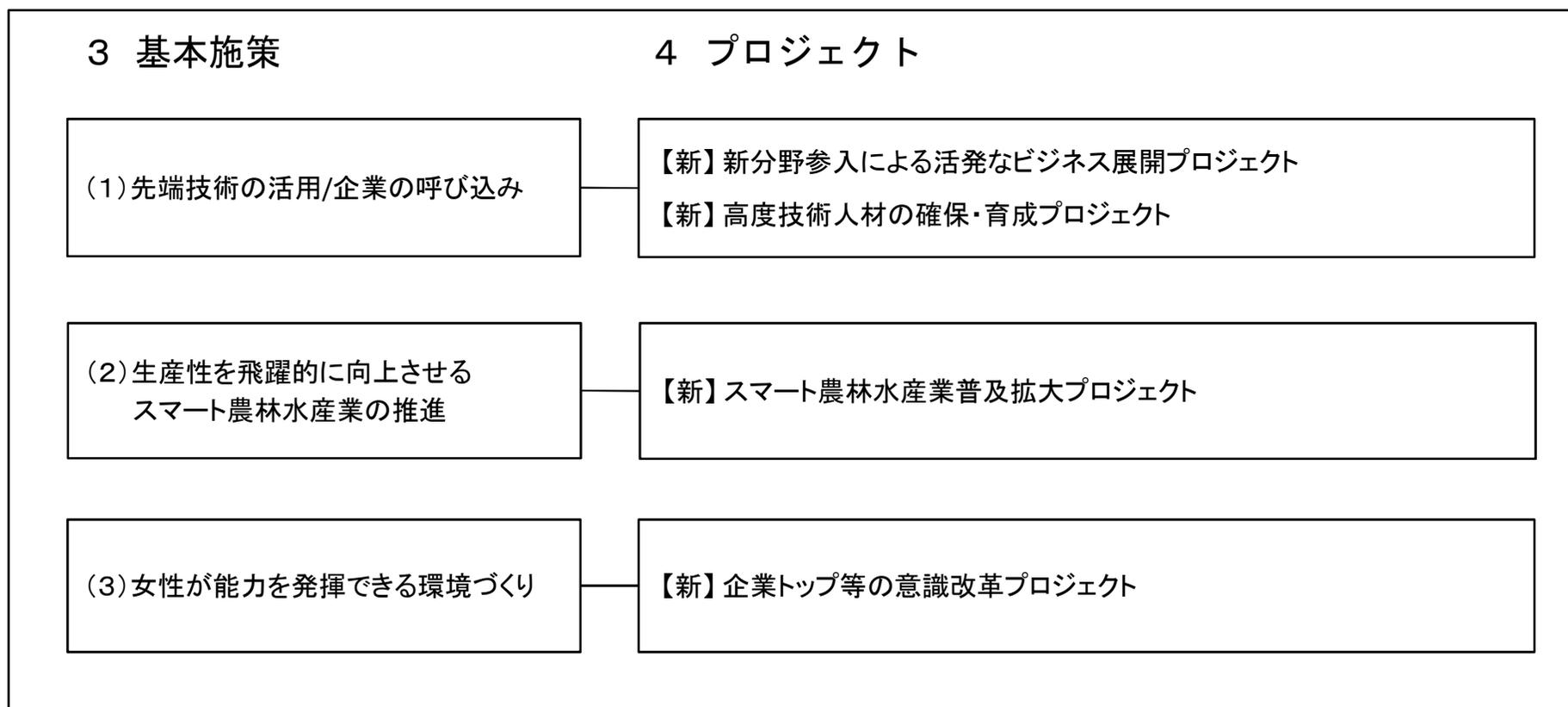


リーダー

三反園鹿児島県知事、小川福岡県知事、金子九経連副会長

1 基本方針	九州・山口地域の各種産業の更なる発展を実現するため、地域の強みを生かしつつ、地域課題の解決に向けて、イノベーションの創出と先端技術を活用した産業の振興に取り組む。
--------	---

2 目指す成果	①新分野参入・先端技術活用をした事業所数 525件 ②スマート農林水産業技術の導入件数 4,160件
---------	---



5 各プロジェクトの概要

[新技術挑戦]

<基本施策(1) 先端技術の活用/企業の呼び込み>

①新分野参入による活発なビジネス展開プロジェクト

事業概要
<p>【目的】 中小企業等の新たな分野への挑戦, 先端技術(IoT, AI, ビッグデータ等)や独自技術を用いた新産業の創出により, 産業の活力維持及び活発なビジネス展開を図る。</p> <p>【5年間の主な取組】 ○新分野参入の促進 成長性の高い分野(環境・新エネルギー, 健康・医療, バイオ, 航空宇宙産業等)など新分野参入を目指す研究開発・販路開拓等の取組を支援</p> <p>○先端技術や独自技術を用いた新産業の創出 先端技術や独自技術を用いた研究開発・実証・販路開拓等の取組を支援するとともに, コンソーシアムを創設し, 官民データの連携による新産業の創出等を目指す。</p>

K P I (重要業績評価指標)
<p>・新分野参入・技術活用を目指す研究開発・実証等の事業数 (現 状 : 131 件) (5年後の目標 : 675 件(累計))</p> <p>※研究開発・実証・販路開拓等の事業数(新分野参入, 技術活用) ※現状値はH30年度実績</p>

<基本施策(1) 先端技術の活用/企業の呼び込み>

②高度技術人材の確保・育成プロジェクト

事業概要
<p>【目的】 先端技術(IoT, AI, ビッグデータ等)などの高度な技術を持つ人材の確保・育成により, 産業の成長や活力の確保を図る。</p> <p>【5年間の主な取組】 ○先端技術活用の理解促進 経営者等に対する先端技術活用の重要性の理解促進を図るフォーラム・セミナーを開催</p> <p>○高度技術人材の確保・育成 先端技術を使いこなす, 新たなビジネスを創造できる人材を確保・育成するための研修講座等を開催</p>

K P I (重要業績評価指標)
<p>・確保・育成した高度技術人材数 (現 状 : 1,080 人) (5年後の目標 : 5,400 人(累計))</p> <p>※先端技術(IoT, AI, ビッグデータ等)に関する技術講座の受講者数 ※現状値はH30年度実績</p>

<基本施策(2) 生産性を飛躍的に向上させるスマート農林水産業の推進>

①スマート農林水産業普及拡大プロジェクト

事業概要	K P I (重要業績評価指標)
<p>【目的】 労働力不足や後継者への技術継承, 生産性・経営力の向上等の課題を解決するため, スマート農林水産業の普及拡大を図り, 稼げる農林水産業の実現を目指す。</p> <p>【5年間の主な取組】</p> <p>・8つの柱 (農業) ①広大な畑地・水田を活用した大規模農業の実現 ②超省力・高生産畜産経営の実現 ③作物の能力を最大限に発揮する施設園芸の実現 ④中山間地域等の条件不利地における持続的農業の実現 (林業) ⑤森林GIS等を活用した森林情報の高度化・共有化の実現 ⑥ICT等を活用した林業機械の導入・活用の実現 ⑦ICT等を活用した木材需給マッチングの円滑化の実現 (水産業) ⑧水産資源の持続的な利用と安定・効率的な水産業経営の実現</p> <p>・取組の展開 ①推進大会や研修会等による理解促進 ②実証活動等を活用した普及拡大 ③スマート農業機械等の整備支援 ④先端技術を活用した森林資源調査手法の普及 ⑤ICT等を活用した林業機械の開発情報の収集・提供 ⑥木材サプライチェーンマネジメントシステムモデルの構築支援 ⑦漁場管理と漁場予測システムの構築</p> <p style="text-align: right;">等</p>	<p>・スマート農業技術の導入件数 (現 状 : 2,005 件) (5年後の目標 : 3,900 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業用ドローン ・施設環境制御技術 (ICT活用モニタリング装置含む) (主要5品目:イチゴ, トマト, きゅうり, ピーマン, マンゴー) ・畜産分娩等監視システム <p style="text-align: right;">の導入件数</p> <p>・スマート林業技術の導入件数 (現 状 : 12 件) (5年後の目標 : 90 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林業事業体が導入したスマート林業技術の導入件数 <p>・スマート水産業技術の導入件数 (現 状 : 45 件) (5年後の目標 : 170 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協等が導入したスマート水産業技術の導入件数 <p style="text-align: right;">※現状値はこれまでの累積</p>

<基本施策(3) 女性が能力を発揮できる環境づくり>

①企業トップ等の意識改革プロジェクト

事業概要

【目的】

先端技術・新産業分野への女性の参画を促進するためには、働く女性が希望をもって活躍できる職場環境・企業風土の改善に向け、当該分野を含むあらゆる分野(行政や各種団体等含む。)のトップ等が先頭に立って女性の活躍推進や働き方改革等を進める必要がある。

このため、九州・山口各県が情報を共有するなど連携し、下記の取組を行うことで、企業トップ等の意識改革を図る。

【5年間の主な取組】

○フォーラム・セミナー等の開催

県内外の企業の経営者等を対象とした意識改革のための基調講演会、各企業の具体的な取組につながる勉強会や情報交換会等の実施

○女性活躍推進に取り組む企業の「見える化」

先端技術・新産業分野をはじめ様々な分野で女性活躍推進に向けた優良な取組を行っている企業の取組を各県のホームページ等で情報発信・共有

※上記の取組に当たっては、本PTの他のプロジェクトや関連する他のPTのプロジェクト(例えば、「しごとづくりPT」の「九州・山口働き方改革推進プロジェクト」など)との連携を図る。

K P I (重要業績評価指標)

・管理的職業従事者に占める女性の割合

(現 状 : 16.3% ※)
(5年後の目標 : 30%)

※H29年 就業構造基本調査

新技術挑戦PT		R2	R3	R4	R5	R6
目指す成果	年次目標（累計）					最終目標
新分野参入・先端技術活用をした事業所数	105 件	210 件	315 件	420 件	525 件	
スマート農林水産業技術の導入件数	2,415 件	2,859 件	3,298 件	3,727 件	4,160 件	
基本施策	取組内容・KPI					
施策別の工程等	新分野参入による活発なビジネス展開プロジェクト					
	(1) 先端技術の活用/ 企業の呼び込み	新分野参入・技術活用を目指す研究開発 135 件	実証等の事業数 270 件	405 件	540 件	675 件
	高度技術人材の確保・育成プロジェクト					
		確保・育成した高度技術人材数 1,080 人	2,160 人	3,240 人	4,320 人	5,400 人
(2) 生産性を飛躍的に向上させるスマート農林水産業の推進	スマート農林水産業普及拡大プロジェクト					
	(1) スマート農業技術の導入件数	2,300 件	2,700 件	3,100 件	3,500 件	3,900 件
	(2) スマート林業技術の導入件数	22 件	41 件	58 件	72 件	90 件
	(3) スマート水産業技術の導入件数	93 件	118 件	140 件	155 件	170 件
(3) 女性が能力を發揮できる環境づくり	企業トップ等の意識改革プロジェクト					
	管理的職業従事者に占める女性の割合	20%以上			30 %	

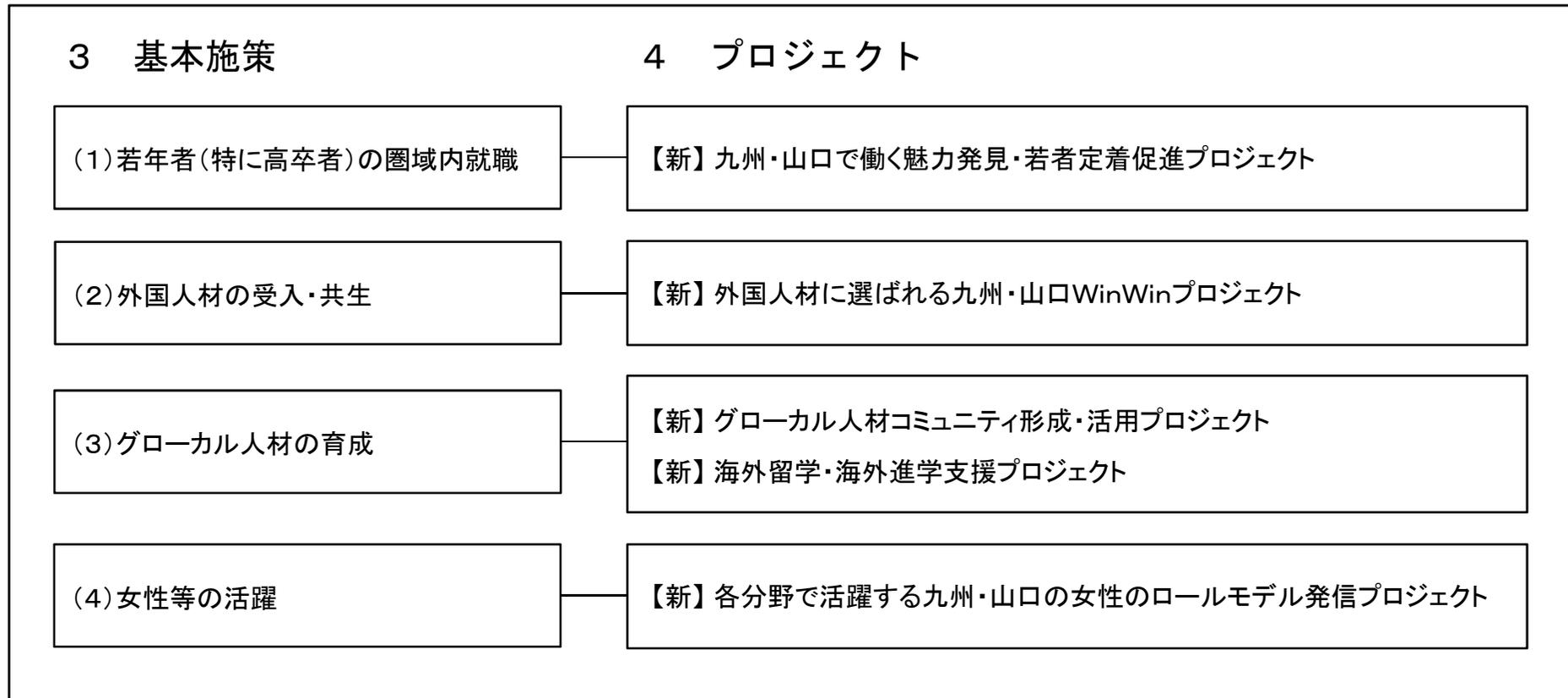
【人材活躍PT】



リーダー
蒲島熊本県知事、麻生九経連会長

1 基本方針	九州・山口地域が持つ様々な強み・ポテンシャルを最大限に活かしながら、若者、外国人、女性など、誰もが居場所と役割を持ち、活躍・活用できる地域社会の実現に官民一体で取り組む。
--------	---

2 目指す成果	①働く若者（15～24歳）の増加 （現状：56万人） ②外国人が働ける場の更なる拡大 （ ” ：21,062事業所 ） ③女性（25～44歳）の就業率の向上 （ ” ：78.7% ）
---------	---



5 各プロジェクトの概要

[人材活躍]

<基本施策(1) 若年者(特に高卒者)の圏域内就職>

①九州・山口で働く魅力発見・若者定着促進プロジェクト

事業概要
<p>【目的】 高卒就職希望者の圏域内への就職を促進するため、保護者も含めて、地元企業に対する理解を深めるとともに、圏域外転出者のUIJターン等の様々な機会を創出する。</p> <p>【5年間の主な取組】</p> <p>1. 若年者へのきめ細かな企業情報の提供、労働環境整備 (1) 企業の労働環境改善・整備の推進、企業情報の発信 (事例集の作成、企業向けセミナーの開催、労働環境整備に係る支援制度の周知徹底 等)</p> <p>2. キャリア教育の更なる推進(高校生と保護者) (1) 企業を「直接、知る機会」の設置 (九州・山口圏域内企業へのバスツアーの実施 等)</p> <p>3. セカンドチャンスを含めたUIJターン就職促進 (1) 圏域外の早期離職者に対するセカンドチャンスを含めたUIJターンの促進 (2) 九州・山口地域で働くことの魅力(魅力的な企業、都市圏と比較した暮らしやすさ等)をPRする機会創出 (首都圏等での就職相談会の開催、就職関連情報発信)</p>

K P I (重要業績評価指標)
<p>・高卒就職者の(i)九州・山口 圏域内就職率 (ii)九州・山口各県 県内就職率 の向上</p> <p>(現 状 : (i)77.7% (ii)67.1% (H31.3卒)) (5年後の目標 : (i)80.0% (ii)70.0% (R7.3卒))</p> <p>※(i)学校基本調査 (ii)高等学校卒業者の就職状況に関する調査</p>

<基本施策(2) 外国人材の受入・共生>

①外国人材に選ばれる九州・山口WinWinプロジェクト

事業概要
<p>【目的】 優秀な外国人材の確保、定着を図るため、受入環境の整備や多文化共生への意識醸成を推進し、外国人材に選ばれる地域を目指す。</p> <p>【5年間の主な取組】</p> <p>1. 企業の魅力発信、外国人材を適正に受け入れる環境の整備 (1) 「外国人労働者が働きやすい企業」事例集の作成 (2) 企業に対する啓発活動、企業の魅力発信 (セミナー開催、優良事例紹介、顕彰等による企業の受入れ環境向上の支援 等)</p> <p>2. 住みよい地域に向けた連携、多文化共生への意識醸成 (1) 多文化共生推進月間の設定と関連事業の実施 (2) 地域日本語教育等の優良事例の共有 (モデル事業紹介、各県HP掲載、市町村への提供) (3) 関係団体(地域国際化協会等)との連携推進 (災害発生時の外国人支援に係る人員派遣 等)</p>

K P I (重要業績評価指標)
<p>・外国人労働者雇用事業所数</p> <p>(現 状 : 21,062 事業所 (R1.10月末現在)) (5年後の目標 : 32,500 事業所 (R6.10月末現在))</p> <p style="text-align: right;">※「外国人雇用状況」の届出状況集計結果</p>

<基本施策(3) グローカル人材の育成>

①グローバル人材コミュニティ形成・活用プロジェクト

事業概要
<p>【目的】 グローカル人材を育成するためには、グローバル人材としての素養に加えて「地域への貢献」の意識付けが重要。 このため、実際にグローバルに活躍する人材と海外留学・進学に興味を持つ若者が交流できるコミュニティを創設し、グローバル人材の育成を図る。</p> <p>【5年間の主な取組】</p> <p>○グローバル人材コミュニティ創設 九州・山口地域出身若しくは在住のグローバル人材と海外留学・進学に興味を持つ若者の意見交換の場（留学・進学イベント）を創設（外国人留学生も参加予定）</p> <p>○若者のグローバル人材コミュニティ参加推進 留学・進学イベントの開催等を通じて、若者の留学・進学及び地域貢献への意識醸成を図る。</p>

<基本施策(3) グローカル人材の育成>

②海外留学・海外進学支援プロジェクト

事業概要
<p>【目的】 若者人口（15～22歳）は減少傾向にあり、これに伴い海外留学・進学者の減少が懸念される。 このため、各県において海外への留学・進学の支援事業を実施することで海外留学・進学者を支援。</p> <p>【5年間の主な取組】</p> <p>○海外留学・進学の支援 各県において、高校生、大学生等向けの留学・進学支援事業を実施</p> <p>（具体例） 海外大学進学支援事業、高校生海外留学支援事業、 高校生の海外大学派遣事業、 専門高校生の海外インターンシップ事業、 官民協働海外留学支援事業（トビタテ！留学JAPAN）</p>

K P I （重要業績評価指標）

<p>・グローバル人材コミュニティへの参加者数</p> <p>（現 状： 0 人 ） （5年後の目標： 3,150 人 ）</p>

K P I （重要業績評価指標）

<p>・各県の支援事業による海外留学者・進学者数</p> <p>（現 状： 299 人（R1年度末現在）） （5年後の目標： 1,500 人（累計））</p>

＜基本施策（４）女性等の活躍＞

①各分野で活躍する九州・山口の女性のロールモデル発信プロジェクト

事業概要

【目的】

少子高齢化やグローバル化が進む現代において、新たな価値やサービスを生み出し経済を活性化させるためには、企業・行政等の意思決定に女性が参画し、企業・行政等に多様な視点を取り入れることが重要。そのために、女性の就労促進と併せ、女性のキャリア形成のための取組を行う。

【５年間の主な取組】

1. 職業生活における女性の活躍の加速化の促進

（１）活躍する女性の情報サイトの構築

企業や行政でキャリアアップを目指す女性、起業した女性、専業主婦を経て就業した女性など、多種多様な女性のロールモデルを紹介するサイトを作成する

（２）社会意識の変革の為の広報啓発

【各県の取組】

上記共有サイトを活用した広報・啓発事業等を実施する

【九州全体の取組】

先端技術、STEAM教育、クリエイティブ等をテーマとした特別講演等の実施

上記分野で国内外で活躍する女性を講師に迎え講演会等を実施する

K P I （重要業績評価指標）

・管理的職業従事者に占める女性の割合

（現 状：16.3%（H29年九州・山口地域平均））

（5年後の目標：30.0%）

※就業構造基本調査

人材活躍PT	R2	R3	R4	R5	R6	
目指す成果	年次目標（累計）				最終目標	
働く若者(15～24歳)の増加	56.8万人	57.6万人	58.4万人	59.2万人	60万人	
外国人が働ける場の更なる拡大	23,300事業所	25,600事業所	27,900事業所	30,200事業所	32,500事業所	
女性(25～44歳)の就業率の向上	79.3%	80.0%	80.6%	81.3%	82.0%	
施策別の工程等	基本施策	取組内容・KPI				
	(1)若年者(特に高卒者)の圏域内就職	九州・山口で働く魅力発見・若者定着促進プロジェクト				
		高卒就職者の(i)九州・山口圏域内就職率・(ii)九州・山口各県県内就職率 (i)78.1%(ii)67.6%	(i)78.5%(ii)68.2%	(i)79.0%(ii)68.8%	(i)79.5%(ii)69.4%	(i)80.0%(ii)70.0%
	(2)外国人材の受入・共生	外国人材に選ばれる九州・山口Win-Winプロジェクト				
		外国人労働者雇用事業所数 23,300事業所	25,600事業所	27,900事業所	30,200事業所	32,500事業所
	(3)グローバル人材の育成	グローバル人材コミュニティ形成・活用プロジェクト				
グローバル人材コミュニティへの参加者数(累計) 450人			1,350人	2,250人	3,150人	
海外留学・海外進学支援プロジェクト						
各県の支援事業による海外留学者・進学者数(累計) 300人		600人	900人	1,200人	1,500人	
(4)女性等の活躍	各分野で活躍する九州・山口の女性のロールモデル発信プロジェクト					
	管理的職業従事者に占める女性の割合			30.0%		

【次世代育成PT】

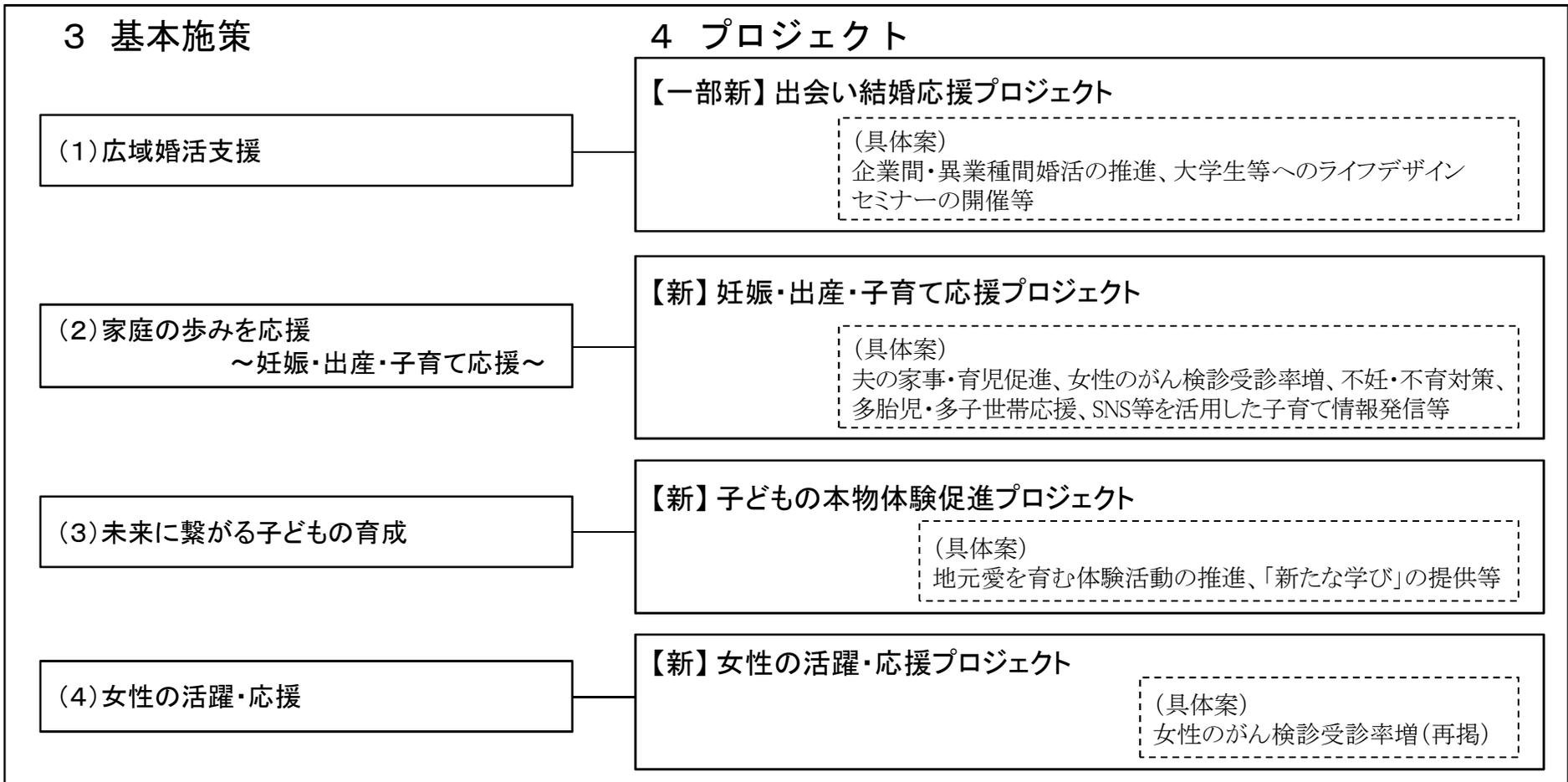


リーダー

山口佐賀県知事 貫九州経済同友会代表委員

1 基本方針	若者が結婚や子育てに希望を持ち、安心して子どもを産み育てられるよう、出会いの場の創出、妊娠・出産・子育てをしやすい環境づくり及び未来に繋がる子どもの育成に社会全体で取り組む。
--------	---

2 目指す成果	①九州・山口の合計特殊出生率の更なる増加（直近:1.63 [H30人口動態調査概数]） ②九州・山口圏域内女性人口(15～49歳)の社会増減率の改善（直近:R1 -0.49%）
---------	---



5 各プロジェクトの概要

<基本施策(1) 広域婚活支援>

①出会い結婚応援プロジェクト

事業概要
<p>【目的】 これまでの出産等PT(JEWELSプラン(H27~R1))における取組を拡大し、より多くの様々な企業・団体が担い手となり、社会全体で結婚を応援する機運を高める。</p> <p>【5年間の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 企業間・異業種間婚活の推進 出会い応援企業・団体を更に増やし、当該団体等による企業間・異業種間婚活等の取組が推進されるよう支援するとともに、多様なニーズに応じた婚活支援を実施する。 ○ 大学生等向けのライフデザインセミナーの開催 大学生等の若い世代を対象に、結婚や子育てにポジティブなイメージを持ってもらえるよう、ライフデザインセミナーを開催する。

KPI(重要業績評価指標)
<p>・出会い結婚応援企業数 ※</p> <p>(現 状 : 2,857 企業 H30) (5年後の目標 : 8,500 企業)</p> <p style="text-align: right;">※ 次世代育成PT独自調査</p>

<基本施策(2) 家庭の歩みを応援 ~妊娠・出産・子育て応援~>

①妊娠・出産・子育て応援プロジェクト

事業概要
<p>【目的】 これまでの出産等PT(JEWELSプラン(H27~R1))において十分には取組を行っていなかった新たな分野にも力を入れ、妊娠・出産・子育てをしやすい環境づくりを行い、家庭の歩みを社会全体で応援する。</p> <p>【5年間の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 夫の家事・育児促進 夫の家事・育児時間を増やし(カジメン・イクメンを増やす)、九州・山口地域の男性が家事・育児に積極的とのイメージを確立する。 ○ 女性のがん検診受診増 女性特有の「子宮頸がん」「乳がん」の早期発見のため、当該がん検診を推進する。 ○ 不妊・不育対策 妊娠・出産の希望を叶えるため、不妊・不育症に対する理解を促進する。 ○ 多胎児・多子世帯応援 多胎児・多子世帯の経済的負担軽減のため、子育て応援の店を活用し、当該世帯を応援する。 ○ SNS等を活用した子育て情報発信等 利便性の高い情報発信ツールを用い、子育て情報をタイムリーに発信する。

KPI(重要業績評価指標)
<ul style="list-style-type: none"> ・6歳未満の子がいる男性の家事・育児時間 (現 状 : 9.45時間/週 ※1) (5年後の目標 : 21時間/週 ※2) ・女性のがん検診受診率 ※3 (現 状 : 子宮頸がん 18.2% 乳がん 17.5% H29) (5年後の目標 : 子宮頸がん 24% 乳がん 25%) <p style="text-align: right;">※1 H28 社会生活基本調査 ※2 次世代育成PT独自調査(R6) ※3 地域保健・健康増進事業報告</p>

<基本施策(3) 未来に繋がる子どもの育成>

①子どもの本物体験促進プロジェクト

事業概要

【目的】

九州・山口に生まれ育った子どもたちが、将来的に地域を作る担い手として様々な場面で活躍できるよう、体験活動を通して、郷土に誇りと愛着を持ち、心豊かでたくましい子どもを育成する。

【5年間の主な取組】

○地元愛を育む体験活動の推進

子どもたちが九州・山口地域の自然・伝統・文化等に直接触れる様々な体験活動を推進する。

○「新たな学び」の提供

域内企業等との連携による「新たな学び」を提供する。

KPI(重要業績評価指標)

・地域や社会をもっとよくしたいと考えている子どもの率 ※

(現 状 : 54.5% R1)

(5年後の目標 : 73%)

※ 全国学力・学習状況調査

<基本施策(4) 女性の活躍・応援>

①女性の活躍・応援プロジェクト

事業概要

【目的】

女性が安心して、妊娠・出産し、その後生涯においても地域、職場、家庭等で活躍できるよう、健康面から女性を応援する。

【5年間の主な取組】

○女性のがん検診受診増

女性特有の「子宮頸がん」「乳がん」の早期発見のため、当該がん検診を推進する。

KPI(重要業績評価指標)

・女性のがん検診受診率(再掲) ※

(現 状 : 子宮頸がん18.2% 乳がん17.5% H29)

(5年後の目標 : 子宮頸がん24% 乳がん25%)

※ 地域保健・健康増進事業報告

目標達成に向けたロードマップ

次世代育成PT	R2	R3	R4	R5	R6
目指す成果	年次目標(累計)				最終目標
九州・山口の合計特殊出生率の更なる増加 (直近:1.63 [H30人口動態調査概数])					
九州・山口圏域内女性人口(15~49歳)の社会増減率の改善 (直近:R1 -0.49%)					
基本施策	取組内容・KPI				
施策別の工程等	(1) 広域婚活支援	出会い結婚応援プロジェクト 出会い結婚応援企業数 8,500企業			
	(2) 家庭の歩みを応援 ~妊娠・出産・子育て応援~	妊娠・出産・子育て応援プロジェクト 6歳未満の子がいる男性の家事・育児時間 女性のがん検診(子宮頸がん、乳がん)受診率 21時間/週 子宮頸がん 24% 乳がん 25%			
	(3) 未来に繋がる子どもの育成	子どもの本物体験促進プロジェクト 地域や社会をもっとよくしたいと考えている子どもの率 73%			
	(4) 女性の活躍・応援	女性の活躍・応援プロジェクト 女性のがん検診(子宮頸がん・乳がん)受診率(再掲) 子宮頸がん 24% 乳がん 25%			

【 地域活力づくりPT 】



リーダー

中村長崎県知事、河野宮崎県知事、石原九経連副会長

1 基本方針	九州・山口地域における地域資源を活用し、また、地域の魅力を発信することで、地域外の者から移住・訪問先等として選ばれる地域となることを目指し、官民一体となった取組を行う。
--------	--

2 目指す成果	<ul style="list-style-type: none"> ①九州・山口地域の移住者数の増加 ②空港連携による九州域内空港の路線維持拡大
---------	---

3 基本施策	4 プロジェクト
(1) 移住対策	【新】九州・山口が一体となった移住促進プロジェクト
(2) 小さな拠点、ネットワークコミュニティの構築	小さな拠点とネットワークコミュニティ構築に向けた担い手確保プロジェクト
(3) 文化・スポーツ資源の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> 【新】スポーツツーリズムによる地域活性化プロジェクト 【新】文化資源の誘客活用プロジェクト
(4) 温泉資源の有効活用	【新】温泉の更なる活性化プロジェクト
(5) 空港連携	【新】九州域内空港の路線維持拡大のための空港連携プロジェクト
(6) 女性に選ばれる地域	<ul style="list-style-type: none"> ・九州・山口が一体となった移住促進プロジェクト(再掲) (女性の先輩移住者による地域の暮らしやすさなど移住促進にかかるメディアジャック等) ・温泉の更なる活性化プロジェクト(再掲) (美容等をテーマとした温泉周遊モデルコースの提案等)

5 各プロジェクトの概要

[地域活力づくり]

<基本施策(1) 移住対策>

①九州・山口が一体となった移住促進プロジェクト

事業概要
<p>【目的】 東京・大阪での移住相談会の開催や女性視点も踏まえたイメージ戦略により、地域の魅力を発信することで、九州・山口地域への移住を推進する。</p> <p>【5年間の主な取組】 ○九州・山口合同移住相談会 東京・大阪において、漠然層に加えて、地域の担い手となる協力隊や集落支援員など、ターゲットを絞った相談会を実施</p> <p>○女性視点も踏まえたイメージ戦略 東京及び大阪において、移住相談会の告知や女性の先輩移住者による地域の暮らしやすさなど移住促進にかかるメディアジャック(「温暖な気候」や「アジアに近接」など九州一体の特徴をアピール)</p>

KPI(重要業績評価指標)
<p>・九州・山口地域の移住者数の増加 (現 状 : H30年度 8,800人(単年度)) (5年後の目標 : R6年度 14,000人(単年度))</p>

<基本施策(2) 小さな拠点、ネットワークコミュニティの構築>

①小さな拠点とネットワークコミュニティ構築に向けた担い手確保プロジェクト

事業概要
<p>【目的】 これまで実施してきた「小さな拠点」づくりを継続するとともに、今後、10年、20年後を見据えた地域住民主体の集落・コミュニティ対策を支える外部からの「担い手の確保」対策を実施する。</p> <p>【5年間の主な取組】 ○九州・山口移住相談会 地域住民主体の集落・コミュニティ対策を支える担い手の確保に向けた相談会を実施(移住対策と連携)</p> <p>○集落・コミュニティ対策に関する研修 地域を支える担い手となる集落支援員や地域おこし協力隊等に対して、集落対策に関する研修を実施</p> <p>○各県小さな拠点担当者意見交換会・先進事例の共有</p>

KPI(重要業績評価指標)
<p>・新たに持続可能な暮らしの実現に向けて取り組んだ地域(団体)数 (現 状 : R1.12 356地域(団体)) (5年後の目標 : R6年度 730地域(団体))</p>

<基本施策(3) 文化・スポーツ資源の有効活用>

①スポーツツーリズムによる地域活性化プロジェクト

事業概要	<p>【目的】 国際大会等のレガシーや恵まれた自然環境を活用したスポーツツーリズムを推進する。</p> <p>【5年間の主な取組】 ○スポーツイベント・大会による地域活性化 (1)スポーツイベント・大会の魅力向上 ①イベント・大会の抽出、カレンダー化 ②スポーツツーリズムポータルサイトの作成、イベント・大会のシリーズ化、開催時期調整など ③イベント・大会へのアジア富裕層等の誘致 (2)新規スポーツイベント・大会の誘致・開催の可能性検討</p> <p>○スポーツ合宿・キャンプ誘致による地域活性化 ①施設やサポート体制などの情報を集約・共有 →ノウハウ共有による全体の質の底上げ ②ポータルサイトへの掲載など共同PRの実施</p>
------	---

KPI(重要業績評価指標)	<p>・九州各県が連携した取組を行うイベント・大会数 (現 状 : —) (5年後の目標 : 9件(各県1件))</p>
---------------	---

<基本施策(3) 文化・スポーツ資源の有効活用>

②文化資源の誘客活用プロジェクト

事業概要	<p>【目的】 九州の文化公演団体等が一堂に会する文化芸術コアイベント(九州大会)を開催し、交流人口の拡大を図る。</p> <p>【5年間の主な取組】 ○文化芸術イベントの企画・調整 イベントの事業内容、場所、財源、参加団体等の決定(イベントとしては、ダンス、ミュージック、アニメ等のフェスティバルを想定)</p> <p>○文化芸術イベント開催 ・最終年度には全9県でのコアイベント開催となるように毎年コアイベント数を順次拡大 ・イベントは一定期間に集中して開催し一体的にPR ・コアイベントのテーマと共通する各県イベントは関連イベントと位置づけ、同時期に開催</p>
------	---

KPI(重要業績評価指標)	<p>・文化芸術コアイベント(九州大会)開催数 (現 状 : —) (5年後の目標 : 9件(各県1件))</p>
---------------	--

<基本施策(4) 温泉資源の有効活用>

①温泉の更なる活性化プロジェクト

事業概要	
【目的】	九州・山口地域に豊富に存在する温泉資源を活用し、交流人口の拡大につなげる。
【5年間の主な取組】	
○温泉の特徴把握	泉質や効能、アピールできる特徴等をアンケート調査等により把握
○温泉周遊モデルコースの提案	共通するテーマ毎にモデルコースを提案 そのテーマに関連する自然、環境、食、体験等も併せて提案
	(モデルコースの例) 「美容」、「健康」をテーマとした温泉周遊モデルコース等

KPI(重要業績評価指標)	
・広域温泉周遊モデルコース数	
	(現 状 : 0件) (5年後の目標 : 3件)

<基本施策(5) 空港連携>

①九州域内空港の路線維持拡大のための空港連携プロジェクト

事業概要	
【目的】	福岡空港は過密である一方、他空港は受入の余地がある中、本プロジェクトでは空港間連携を促進することで、インバウンドの誘客を図り、第二期九州観光戦略の目標「訪日外国人数786万人」の目標達成に寄与する。
【5年間の主な取組】	
○短期的取組	(1) 広域周遊商品造成の働きかけなど空港間のイン・アウト連携(九州観光推進機構とも連携) (2) 同じ航空会社が就航している空港間の連携による共同観光プロモーション(九州観光推進機構とも連携)
○中・長期的研究課題	(1) 空港間・地域間連携、広域周遊コース造成を推進するための空港・地域間アクセスの向上等、WGを設置して研究

KPI(重要業績評価指標)	
・オープン・ジョー(※)を使った旅行商品の新規造成延べ件数	
	(現 状 : —) (5年後の目標 : 新たに延べ21件以上)
	※オープン・ジョー … 往路と復路で別の空港を利用する航空券

<基本施策(6) 女性に選ばれる地域>

①九州・山口が一体となった移住促進プロジェクト (再掲)

事業概要
<p>【目的】 東京・大阪での移住相談会の開催や女性視点も踏まえたイメージ戦略により、地域の魅力を発信することで、九州・山口地域への移住を推進する。</p> <p>【5年間の主な取組】 ○女性視点も踏まえたイメージ戦略 東京及び大阪において、移住相談会の告知や女性の先輩移住者による地域の暮らしやすさなど移住促進にかかるメディアジャック(「温暖な気候」や「アジアに近接」など九州一体の特徴をアピール)</p> <p style="text-align: right;">※当該プロジェクトのうち、女性に関連する事業を抜粋</p>

KPI(重要業績評価指標)
<p>・九州・山口地域の移住者数の増加</p> <p>(現 状 : H30年度 8,800人(単年度)) (5年後の目標 : R6年度 14,000人(単年度))</p>

<基本施策(6) 女性に選ばれる地域>

②温泉の更なる活性化プロジェクト (再掲)

事業概要
<p>【目的】 九州・山口地域に豊富に存在する温泉資源を活用し、交流人口の拡大につなげる。</p> <p>【5年間の主な取組】 ○温泉周遊モデルコースの提案 共通するテーマ毎にモデルコースを提案 そのテーマに関連する自然、環境、食、体験等も併せて提案 (モデルコースの例) 「美容」、「健康」をテーマとした温泉周遊モデルコース 等</p> <p style="text-align: right;">※当該プロジェクトのうち、女性に関連する事業を抜粋</p>

KPI(重要業績評価指標)
<p>・広域温泉周遊モデルコース数</p> <p>(現 状 : 0件) (5年後の目標 : 3件)</p>

目標達成に向けたロードマップ

地域活力づくりPT	R2	R3	R4	R5	R6
目指す成果	年次目標（累計）				最終目標
九州・山口地域の移住者数の増加	10,300人	21,900人	34,800人	48,200人	62,200人
空港連携による九州域内空港の路線維持拡大 (オープン・ジョーを使った旅行商品の新規造成延べ件数)					R2～R6の間で新たに延べ21件以上
基本施策	取組内容・KPI				
(1) 移住対策	九州・山口が一体となった移住促進プロジェクト				
	九州・山口地域の移住者数の増加 10,300人	21,900人(+11,600)	34,800人(+12,900)	48,200人(+13,400)	62,200人(+14,000)
(2) 小さな拠点、ネットワークコミュニティの構築	小さな拠点とネットワークコミュニティ構築に向けた担い手確保プロジェクト				
	新たに持続可能な暮らしの実現に向けて取り組んだ地域(団体)数 460地域(団体)	530地域(団体)	620地域(団体)	690地域(団体)	730地域(団体)
(3) 文化・スポーツ資源の有効活用	スポーツツーリズムによる地域活性化プロジェクト				
	九州各県が連携した取組を行うイベント・大会数				R4～R6の間で9件
(4) 温泉資源の有効活用	文化資源の誘客活用プロジェクト				
	文化芸術コアイベント(九州大会)開催数 1件	3件	5件	9件	
(5) 空港連携	温泉の更なる活性化プロジェクト				
	広域温泉周遊モデルコース数	1件	2件	3件	
(6) 女性に選ばれる地域	九州域内空港の路線維持拡大のための空港連携プロジェクト				
	オープン・ジョーを使った旅行商品の新規造成延べ件数				R2～R6の間で新たに延べ21件以上
(6) 女性に選ばれる地域	九州・山口が一体となった移住促進プロジェクト(再掲)				
	温泉の更なる活性化プロジェクト(再掲)				

施策別の工程等

【安心・安全PT】



リーダー

河野宮崎県知事、中村長崎県知事、竹島九経協会長、小澤九経連理事

<p>1 基本方針</p>	<p>「人生100年時代」における超高齢社会、人口減少社会にあっても、九州・山口地域が持続的に発展するため、誰もが安心して元気に住み続けることができる地域社会づくりを進めるとともに、昨今の激甚化する災害に備えて危機管理を強化し、安全な暮らしを実現するための社会づくりに取り組む。</p>
<p>2 目指す成果</p>	<p>①九州各県健康寿命の延伸 (目標) 平成28年比1年以上延伸(R4) ②インフラ事業者との災害復旧に係る連携体制の構築 (目標) インフラ事業者との連携訓練を九州全県で実施</p>
<p>3 基本施策</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)健康長寿社会づくり (2)持続可能な社会インフラの整備 (3)激甚化する災害への備え (4)女性目線の防災・減災対策 	<p>4 プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> 【新】健康寿命延伸対策プロジェクト 【新】地域公共交通の「見える化・魅力化・最適化」プロジェクト 【新】乗合バスの運転手確保プロジェクト 【新】電力・通信等のインフラ復旧連携プロジェクト 【新】想定最大規模の災害に備えたハザードマップ作成プロジェクト 【新】女性や子ども等にも配慮した避難所運営円滑化プロジェクト

5 各プロジェクトの概要

[安心・安全]

<基本施策(1) 健康長寿社会づくり>

①健康寿命延伸対策プロジェクト

事業概要
<p>【目的】 九州一体で健康寿命を延伸させ、いくつになっても健康で活躍できる地域「健康九州」づくりを行う。</p> <p>【5年間の主な取組】 ①健康寿命の延伸のための重点的取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣の改善 ・生活習慣病の発症予防、早期発見(特定健診の受診率向上) ・重症化予防(糖尿病予備群等への保健指導強化) ・健康経営の推進(健康経営に取り組む国や各県の認定・登録企業数の増) ・介護予防(「通いの場」の拡充支援) <p>②取組の展開(九州一体での行動変容の促進)</p> <p><例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州各県や企業等と連携した、統一ポスター等の作成による健康づくりの啓発(9月の健康増進月間に合わせ、第一日曜日を「九州健康増進チャレンジデー」として、各県でイベント等を実施する) ・健康アプリを活用した「各県対抗歩数レース」の実施等による健康アワードの創設 ・「九州各県ふるさと&健康自慢弁当」の創作

K P I (重要業績評価指標)
<p>・九州各県健康寿命の延伸</p> <p>(現 状 : —) (5年後の目標 : 平成28年比1年以上延伸(R4))</p>

<基本施策(2) 持続可能な社会インフラの整備>

①地域公共交通の「見える化・魅力化・最適化」プロジェクト

事業概要
<p>【目的】 地域公共交通の利用者に向け、経路や運行状況等の情報を「見える化」して利用を促進するとともに、乗り物としてのバスや鉄道のPRを通じた「魅力化」や、新技術や既存輸送資源の活用による「最適化」を図ることで、持続可能な地域公共交通ネットワークの構築を図る。</p> <p>【5年間の主な取組】 ①「見える化」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準フォーマットによる公共交通の経路・運行情報のデータ整備・オープン化促進(合同研修開催等) <p>②「魅力化」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディア・エージェント・FIT等に向けた観光情報と「バスや鉄道の魅力」の一体的なPR(九州観光推進機構等との連携) <p>③「最適化」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新モビリティサービス(MaaS・新型輸送サービス)や、貨客混載等輸送サービスの「シェア」の導入・普及促進に向けた調査研究

K P I (重要業績評価指標)
<p>・地域公共交通(乗合バス・鉄道・軌道)の輸送人員</p> <p>(現 状 : 598,896千人(H29)) (5年後の目標 : 598,896千人(R6))</p> <p style="text-align: right;">※H29年度の水準を維持</p>

<基本施策(2) 持続可能な社会インフラの整備>

②乗合バスの運転手確保プロジェクト

事業概要

【目的】

路線の維持に影響を及ぼしつつある運転手不足の解消に向け、運転手の確保等を支援する取組を行うことにより、地域公共交通の維持・確保に資する。

【5年間の主な取組】

①大型二種免許取得支援

・関係団体等と連携した大型二種免許取得の支援(取得費助成等の支援制度の導入、充実、活用等)

②バス運転手のイメージアップ支援

・交通事業者、業界団体と連携し、メディアでのPR等による「運転手」のイメージアップを支援

K P I (重要業績評価指標)

・大型二種運転免許交付件数

(現 状 : 6,454件 (H26~H30年度計))

(5年後の目標 : 7,000件以上(R2~R6年度計))

<基本施策(3) 激甚化する災害への備え>

①電力・通信等のインフラ復旧連携プロジェクト

事業概要

【目的】

災害発生時に官民が一体となって協力・連携し、早期の災害復旧を目指す。

【5年間の主な取組】

①協定の締結

・九州各県と経済界との間で災害復旧に係る連携について協議を進め、協定等を締結する。

②連携訓練の実施

・協定等の締結内容を踏まえ、九州各県においてインフラ事業者との連携訓練を実施する。

K P I (重要業績評価指標)

・インフラ事業者との災害復旧に係る連携体制の構築

(現 状 : 協定等の締結なし、連携訓練の実施なし)

(5年後の目標 : インフラ事業者との連携訓練を

九州全県で実施)

※初年度に基本協定を締結

<基本施策(3) 激甚化する災害への備え>

②想定最大規模の災害に備えたハザードマップ作成プロジェクト

事業概要

【目的】

想定し得る最大規模の災害に対して、適切な避難行動を促し、人的被害の軽減を図る。

【5年間の主な取組】

①ハザードマップの作成

・想定し得る最大規模の洪水・高潮等において、様々な機会における情報提供を通じ、災害リスクの認知度及び適切な避難行動の認知度を向上させるため、浸水想定区域図・ハザードマップを作成し、公表する。

K P I (重要業績評価指標)

・洪水・高潮等に関する浸水想定・ハザードマップを作成する市町村の割合

(現 状(洪水) : 32.7% (R1.10))

(5年後の目標 : 100.0% (R6))

※目標の対象は、洪水以外にも高潮、内水、津波、土砂災害、ため池を含み、対応を要する市町村における達成割合とする。

<基本施策(4) 女性目線の防災・減災対策>

①女性や子ども等にも配慮した避難所運営円滑化プロジェクト

事業概要

【目的】

女性等の視点を踏まえた統一的な避難所運営マニュアルのモデルを策定することにより、女性や子ども等に配慮した避難所運営の円滑化を図る。

【5年間の主な取組】

①「避難所運営マニュアル基本モデル」(仮称)の策定

・策定後、内容を検証し、必要に応じて改訂する。

K P I (重要業績評価指標)

・九州・山口版「避難所運営マニュアル基本モデル」の策定

(現 状 : な し)

(目 標 : R3年度策定)

※R4年度以降、必要に応じた改訂

目標達成に向けたロードマップ

安心・安全PT	R2	R3	R4	R5	R6	
目指す成果	年次目標（累計）				最終目標	
健康寿命の延伸			平成28年比 1年以上の延伸			
施 策 別 の 工 程 等	基本施策	取組内容・KPI				
	(1)健康長寿社会 づくり	健康寿命延伸対策プロジェクト				
		○九州各県健康寿命の延伸		平成28年比 1年以上の延伸		
	(2)持続可能な社会 インフラの整備	地域公共交通の「見える化・魅力化・最適化」プロジェクト				
		○地域公共交通(乗合バス・鉄道・軌道)の輸送人員	598,896 千人	598,896 千人	598,896 千人	598,896 千人
		乗合バスの運転手確保プロジェクト				
○大型二種運転免許交付件数	計1,400 件	計2,800 件 (+1,400)	計4,200 件 (+1,400)	計5,600 件 (+1,400)	計7,000 件 (+1,400)	

		R2	R3	R4	R5	R6	
目指す成果		年次目標（累計）				最終目標	
災害復旧連携訓練		実施なし	複数県で実施	全県で実施	全県で実施	全県で実施	
施策別の工程等	基本施策	取組内容・KPI					
	(3) 激甚化する災害への備え	電力・通信等のインフラ復旧連携プロジェクト					
		○基本協定等の締結 締結済み	〔各県と各事業所間で覚書等の締結〕				
		○連携訓練 実施なし		複数県で実施	全県で実施	全県で実施	全県で実施
	(4) 女性目線の防災・減災対策	想定最大規模の災害に備えたハザードマップ作成プロジェクト					
○ハザードマップの作成率(洪水、高潮、内水、津波、土砂災害、ため池)		50.0 %	70.0 %	80.0 %	90.0 %	100 %	
(4) 女性目線の防災・減災対策	女性や子ども等にも配慮した避難所運営円滑化プロジェクト						
	○九州・山口版「避難所運営マニュアル基本モデル」の策定	策定作業実施	策定完了	(必要に応じた改訂)	(必要に応じた改訂)	(必要に応じた改訂)	